

古紙再生活動を通じたインクルーシブな社会の実現

- **実施団体**：社会福祉法人いこま福祉会
- **対象国・地域**：セルビア共和国・ベオグラード市
- **現地カウンターパート**：知的障害者施設「Naša Kuća」
(ナーシャ・クーチャ：私たちの家の意)
- **協力内容**：
たばこの空箱を使った古紙再生活動を通じて、一人ひとりの障害特性に応じた適切な日中活動プログラムを確立する。
- **団体のこれまでの取り組み**：
 - ▶ 1973年、障害者の保護者及び支援者が中心に設立。
 - ▶ 障害者が地域社会を支える一人として自尊心を持って暮らせる社会の実現のため、地域生活に必要なサービスを、利用者を中心に据えて総合的に提供。市内約20カ所の関連施設を運営。
 - ▶ 民間・行政とのネットワーク構築や、自治会、民生委員、学校、PTA、企業等と連携し、社会包摂に取り組む。
- **事業実施の背景**：
 - ▶ 障害者の就労生活支援者の不足と、障害特性に応じた支援技術不足により、障害者の自立生活が困難。
 - ▶ 国の財政状況により、障害者福祉事業の予算担保が困難。障害者の社会参加支援施策が未整備で、NGOが独自で支援を展開。
 - ▶ NGOは運営・予算確保に労苦し、職員の技能向上や自立促進に向けた個別対応が不十分。



セルビア国の課題と成果

- 課題①障害者支援の知識及び技術レベルの向上が必要**
 - ▶ すべてのスタッフが技術レベル目標値80点以上を獲得。
 - ▶ 習得した知識と技術をもとに作業マニュアルを完成。
- 課題②障害特性に応じた支援技術の向上が必要**
 - ▶ 利用者の障害特性等をまとめた個別カルテを作成。カルテに基づき作業内容を設定し、支援を開始。
 - ▶ 利用者の82%で担当可能な作業工程が増加した。利用者を指導できる利用者リーダーも育成された。
- 課題③障害者の社会参加・交流の機会が少ない**
 - ▶ 施設所在地区や近隣教育施設にて講演活動と訪問交流イベントを開催。SNSでも施設全体の取組みを発信。
 - ▶ 障害者支援や古紙再生に対する共感と認知度が向上し、自治会や地元企業、大学、同業者との連携が促進された。

事業の波及効果

- ！セルビア国内に多くの効果をもたらしています！**
 - ①SDGsに対する市民意識向上に伴い障害者による古紙再生活動が注目 → 再生紙の認知向上と支援者増加。
 - ②古紙再生が政府青年企業家育成施策のモデルに選出。
 - ③市内と地方都市の障害者施設から技術支援の要請、地元企業も社会貢献活動として支援提供を開始。
 - ④現地大学との連携(芸術学部へ作品制作用の再生紙を供給、有機化学学部と野菜の再生紙開発) 等
- ！国内の障害のある当事者の国際理解を促進！**
 - ▶ 本邦研修時に団体の利用者・保護者とセルビア関係者が交流し、海外に関心を寄せる利用者が増加した。